

第 5 分 区 I M の 概 要

国際ロータリー第 2 7 9 0 地区第 5 分区 カバナー補佐 古市一雄

1 今回のインターシティ・ミーティング（IM）は、国際ロータリー第 2 7 9 0 地区第 5 分区内（勝浦・鴨川・千倉・館山・館山ベイ・鋸南）ロータリアン 105 名と鴨川ロータリーと友好クラブの国際ロータリー第 2600 地区長野県上田西ロータリー、同 2620 地区山梨県身延ロータリーから合わせて 18 名、全体で 123 名と過去最高の人が集まり、多彩な勉強会となりました。

2 日 時 平成 2 5 年 2 月 1 9 日（火）

場 所 鴨川市西町 ホテル鴨川館

ホストクラブ 鴨川 R C 佐藤多恵子会長、実行委員長武田将次郎（同鴨川 R C、会場となった鴨川館社長）

3 主催者 古市カバナー補佐の挨拶

3 0 年ぶりに日本から選ばれた R I 会長田仲作次氏は、「奉仕を通じて平和を」というテーマを設定しました。そして、得居仁カバナーは、「職業奉仕の更なる推進」など 6 項目を重点事項として私達会員に要請しています。今回の IM で何かを感じ取っていただき、実り多い大会となるよう祈念します。

4 基調講演は、パストカバナーの土屋亮平氏にお願いしました。

・ 演 題「決議 2 3 - 3 4 号議案とは何か、何故重要か」

ロータリークラブの創立間もない 1 9 0 7 年ごろ、「親睦のエネルギーを人の為に使おう」とした奉仕の考えが、発生した。そして、「奉仕の心」を定義付けた。その後アーサーシェルドンが、「最も良く奉仕するものが最も多く報いらける」という言葉を提唱し、今日に至っている。それが、決議 2 3 - 3 4 議案となった。ロータリークラブが生まれて 1 0 0 年以上立ち、全てのロータリアンが初心に立ち返り、「奉仕は親睦により生じ、奉仕は親睦によって磨かれる」という基本に立ち返って、活動して欲しいと訴えました。

5 特別講演は、早稲田大学第 1 4 代総長、日本高等学校野球連盟会長などの要職を務めている奥島孝康氏にお願いしました。

ー 奥島氏の講演は、2 0 1 1 年、鴨川ロータリークラブ（当時会長は、古市一雄）創立 5 0 周年記念事業の中で、予定されていましたが、東日本大震災に関連して、イベント中止のやむなきとなり、2 年ぶりの再会となりました。ー

・演題「スポーツと教育」

現在、大阪の高校での虐めと体罰、そして、オリンピック強化選手を指導している柔道界での指導のあり方には、聞くに堪えがたい。まさに、ありえない光景と言葉は、本当に恥ずかしく、スポーツと教育がいかにかまがっているか、この際、全部の膿を出して、生まれ変わって欲しい。私は、アマチュア精神をもって無報酬で14のスポーツと教育に関する公益法人の理事長をしている。おそらく、日本で一番多く引き受けている人間かもしれない。但し、柔道界は、別物となっている。高野連の会長を引き受けているが、100年近い歴史の中で、全てボランティアで成り立ち、毎年春、夏の大会に向けて、これほど盛り上がってきた高校のスポーツは、野球以外にはない。それは、高校にとっての野球は、教育の一環として捉えて指導してきたものがあり、長い歴史の中で、徐々に積み上げられた成果とっており、柔道界においても、拝金主義を排除しながら地道に培っていくという姿勢が問われているように思えてならない。武道は、只、強くなることということよりも、自己を磨き、社会の一隅を照らす人間形成にあることを忘れてはならず、そのためのルール作りが必要である。このことを力説しました。

6 今IMの席上、次期カバナー補佐とホストクラブを決定し、来年度の運営を確認しました。

— 次期（本年7月から）カバナー補佐は、千倉ロータリークラブの川名幸雄氏に、ホストクラブは、千倉ロータリークラブ（笹子田鶴子会長） —

※ 追記

- ① 以上の報告は、DVDとして記録し、第5分区内ロータリークラブには、会長、幹事用など3枚ずつ配布し、報告書に代えることとしました。
- ② 詳細報告については、第5分区事務局 鴨川ロータリークラブにあり、貸し出しも致しますので、問い合わせ下さい。

問い合わせ先、鴨川ロータリークラブ

電話・f a x 共 04-7093-2001

以 上